

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 4 年 6 月 14 日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者

住 所 静岡県静岡市駿河区手越367

氏 名 株式会社 ミサワホーム静岡

代表取締役 榎本 裕二

電話番号 054-257-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 ミサワホーム静岡 東部建設部 (三島支店・東部建設部・リフォーム事業部三島店)
事業場の所在地	静岡県駿東郡長泉町下土狩20-3 山光ビル
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高2,003,236,332円
③ 従業員数	総数 268人（東部事業所68名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	※別紙④-1、④-2、④-3、④-4、④-5

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
※別紙 I

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙 II	
	排出量	※別紙 II t	t
	(これまでに実施した取組) ・ゼロエミッション取り組み開始（平成21年6月より）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別紙 II	
	排出量	※別紙 II t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ゼロエミッションの継続 ・ゼロエミッションのパトロール		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ☐廃プラスチック☐紙くず☐木くず☐繊維くず☐金属くず ☐ガラスくず、コンクリートくず、及び陶磁器くず☐がれき類☐汚泥
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記分別の継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

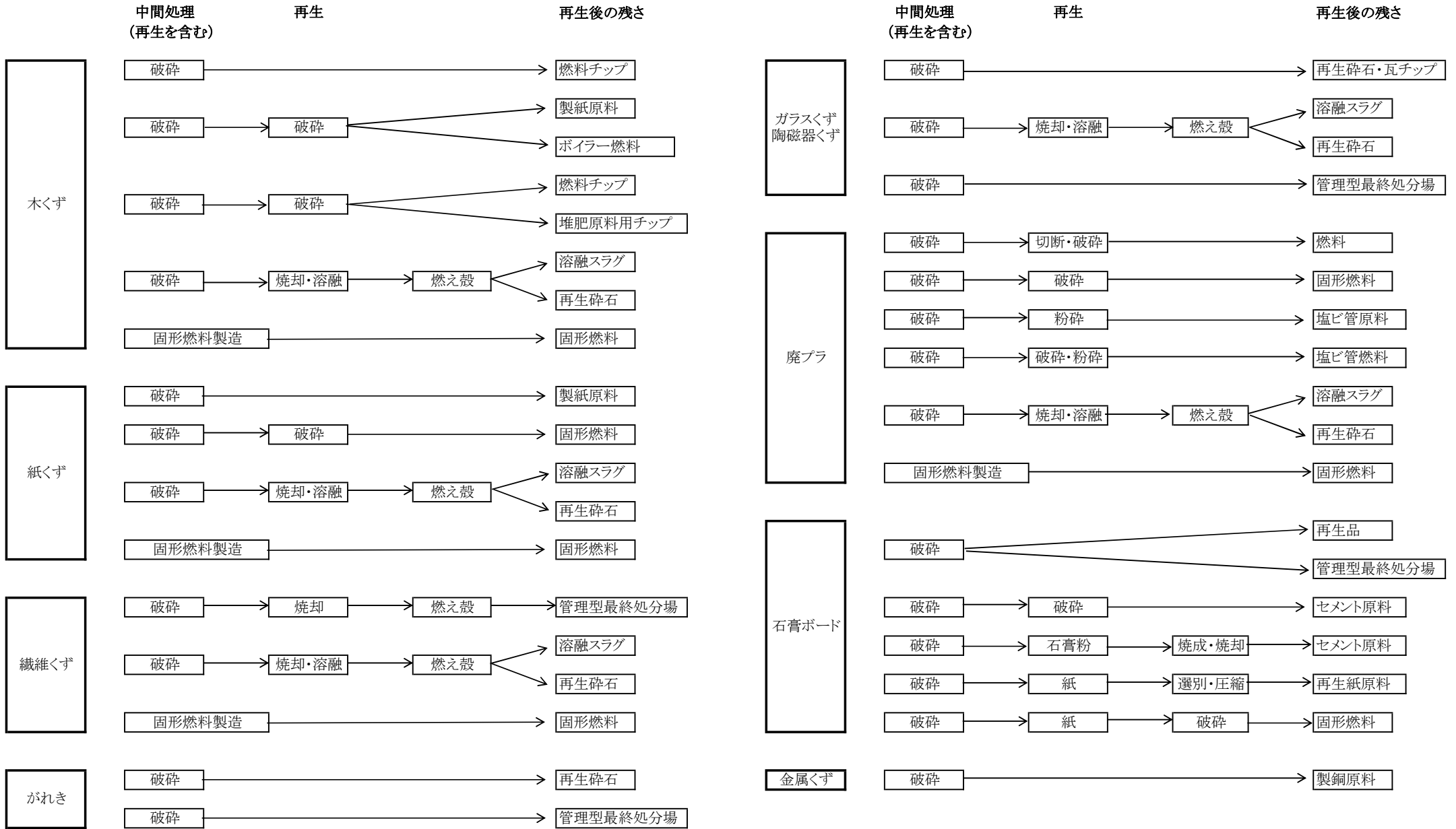
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙Ⅱ	
	全処理委託量	※別紙Ⅱ t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・処理施設の現場視察		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別紙Ⅱ	
	全処理委託量	※別紙Ⅱ	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・処理施設の現状視察 ・排出量の削減		
※事務処理欄			

※④-1産業廃棄物の一連の処理の工程

現場分別品目	収集運搬	廃棄物の種類 (処理ルートごと)	中間処理(再生を含む)			再生(中間処理後の残さに関して)			再生売却先	最終的な製品	埋立	
			方法	中間処理	処理後の残さ	再生の方法	再生	再生後の残さ			処分の種類	
木くず(A)	収集運搬	破砕後チップにしたものを資源として再利用(売却) 無垢材	破砕	中間処理	チップ			再生	古紙・ダンボール			
木くず(B)	収集運搬	破砕後チップ(RC)したものを資源として再利用(売却) 合板材	破砕	中間処理	チップ			再生	燃料			
木くず	収集運搬	焼却(サーマルリサイクル)し、燃え殻は再生先に委託処理 塗料(漆喰)合板材 腐食材	焼却(サーマル)	中間処理	燃え殻	コンクリート固形化 分級処理	再生	再生骨材 路盤材		燃え殻	管理型埋立	
ダンボール	収集運搬	圧縮後資源として再利用(売却) ダンボール(板紙)	圧縮	中間処理	ダンボール原料			再生	再生紙			
紙くず	収集運搬	圧縮後資源として再利用(売却)のもの、質の良いものは、圧縮しRPF原料として再利用 紙くず	圧縮/破砕	中間処理	紙くず	破砕	再生	RPF原料				
		焼却(サーマルリサイクル)し、燃え殻は再生先に委託処理 紙くず	焼却(サーマル)	中間処理	燃え殻	コンクリート固形化 分級処理	再生	再生骨材 路盤材		燃え殻	管理型埋立	
廃プラスチック類	収集運搬	軟質は圧縮、破砕後資源として再利用(売却)、質の良いものは、圧縮しRPF原料として再利用、硬質は破砕後再利用 廃プラ	圧縮/破砕/切断	中間処理	廃プラスチック類	破砕	再生	RPF原料 再生プラ	再生	再生プラ		
		発泡スチロールを溶融固化し再利用(売却) 溶融固化		中間処理	インゴット	破砕	再生	再生プラ	再生	再生プラ		
		再利用できないものは焼却(サーマルリサイクル)し、燃え殻は再生先に委託処理 焼却(サーマル)		中間処理	燃え殻	コンクリート固形化 分級処理	再生	再生骨材 路盤材		燃え殻	管理型埋立	
繊維くず	収集運搬	焼却(サーマルリサイクル)し、燃え殻は再生先に委託処理 繊維くず	焼却(サーマル)	中間処理	燃え殻	コンクリート固形化 分級処理	再生	再生骨材 路盤材		燃え殻	管理型埋立	
がれき類	収集運搬	破砕後資源として売却処理 コンクリートから アスから	破砕	中間処理	コンクリートから			再生	路盤材			
金属くず	収集運搬	資源として売却処理 鉄	圧縮/破砕/切断	中間処理	鋼材原料			再生	鋼材			
		資源として売却処理 非鉄	圧縮/破砕/切断	中間処理	鋼材原料			再生	鋼材			
ガラス・陶磁器くず	収集運搬	破砕後再利用のため溶融施設へ委託処理 ガラス・陶磁器くず	破砕	中間処理	ガラス・陶磁器くず	焼却・溶融 焼却・焼成	再生	路盤材 セメント原料				
		ガラス・陶磁器くず	破砕	中間処理	ガラス・陶磁器くず					埋立		
その他がれき類	収集運搬	破砕後再利用のため委託処理 瓦・タイル・スレート	破砕	中間処理	その他がれき類	焼却・焼成 破砕	再生	セメント原料 路盤材				
ガラス・陶磁器くず	収集運搬	破砕後石膏ボードとして再利用のため委託処理 石膏ボード(乾室系) 解体ボード	破砕	中間処理	石膏ボード 石膏ボード	破砕	再生	石膏ボードとして再利用 石膏ボードとして再利用				
混合廃棄物 (種別材で分別不可物)	収集運搬	焼却(サーマルリサイクル)し、燃え殻は再生先に委託処理 混合廃棄物 (種別材で分別不可物)	焼却(サーマル)	中間処理	燃え殻	コンクリート固形化 分級処理	再生	再生骨材 路盤材		燃え殻	管理型埋立	
石粉含有産業廃棄物 (燐? 3%以内、3%以上はコンクリートくず及び陶 磁器くず、がれき類)	収集運搬									埋立		
水銀使用製品 (産業廃棄物 (廃蛍光灯))	収集運搬	破砕後再生先にて再利用 廃蛍光灯	破砕	中間処理	廃プラ・ガラス陶・金属くず	溶融 破砕	再生	再生 再生				
汚泥	収集運搬	汚泥	焼却(サーマル)	中間処理	燃え殻	コンクリート固形化 分級処理	再生	再生骨材 路盤材		埋立 燃え殻	管理型埋立	

※④-2【産業廃棄物処理の一連の工程】



※④-3産業廃棄物の一連の処理の工程

コンクリートガラ	→	再生砕石として再資源化
アスファルトコンクリート	→	再生砕石として再資源化
木くず	→	木材チップとして再資源化
金属くず	→	電炉メーカー(鉄)、商社(非鉄)へ売却
廃プラスチック類	→	原料として再資源化
繊維くず	→	原料として再資源化
がれき	→	安定型埋立処分
ガラス・陶磁器くず	→	安定型埋立処分
石膏ボード	→	原料として再資源化

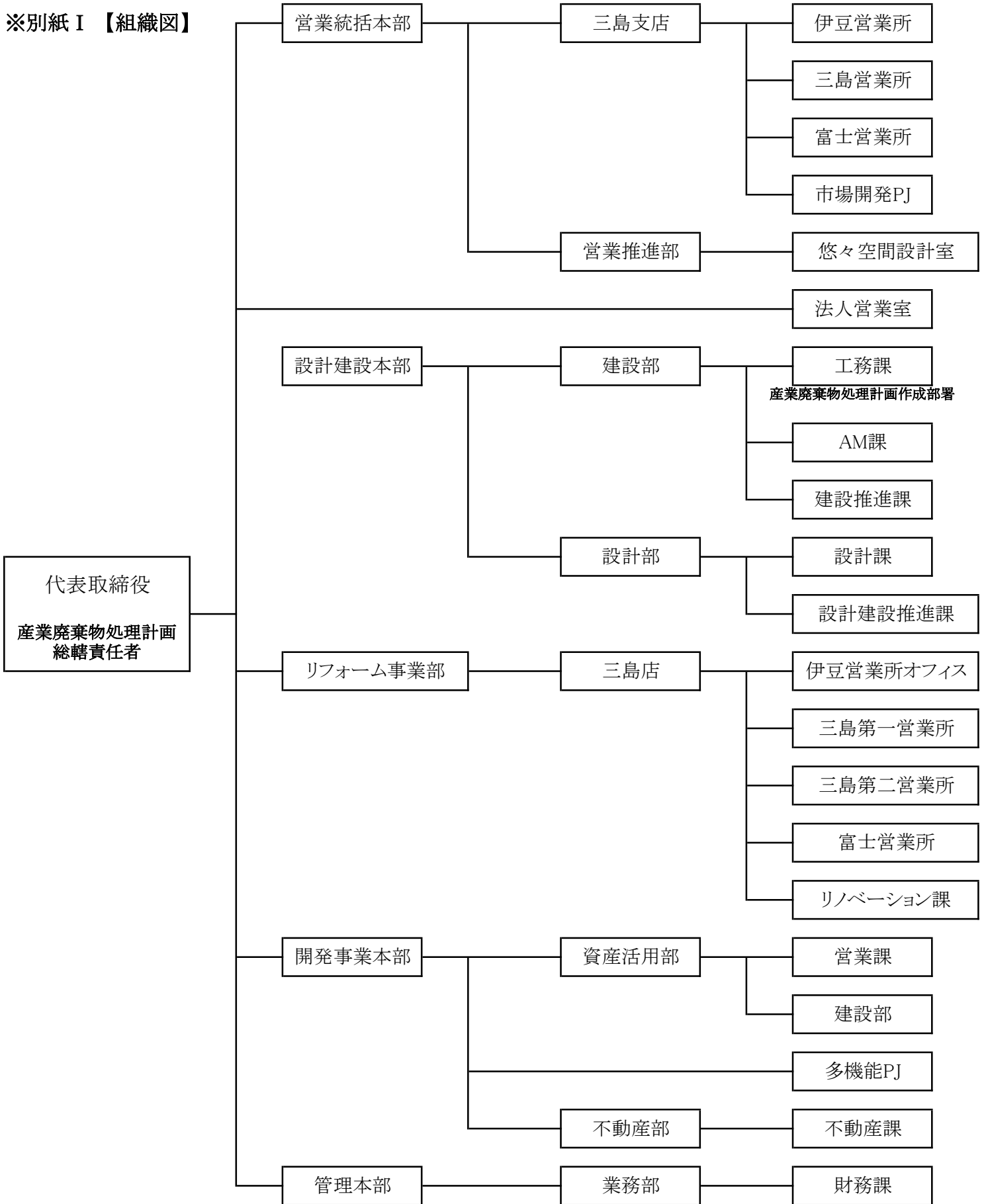
※④-4産業廃棄物の一連の処理の工程



※④-5 【 産業廃棄物の一連の処理の工程】



※別紙 I 【組織図】



※別紙Ⅱ

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

品目	現状	計画
	前年度 産業廃棄物 排出量(t)	今年度 産業廃棄物 排出量(t)
廃プラスチック	173.8800	159.9696
紙くず	33.1200	30.4704
木くず	479.4570	441.1004
繊維くず	3.5460	3.2623
金属くず	79.8910	73.4997
ガラス・陶磁器くず	206.6790	190.1447
がれき類	427.6840	393.4693
汚泥	2.2000	2.0240
合計	1406.4570	1293.9404

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

品目	現状					計画				
	前年度 産業廃棄物 委託量(t)	優良認定業者へ の処理委託量 (t)	再生利用業者への処 理委託量(t)	認定熱回収 業者への処 理委託量 (t)	認定回収業 者以外への 熱回収を行う 業者への処 理委託量(t)	本年度 産業廃棄物 委託量(t)	優良認定業 者への処理 委託量(t)	再生利用業者へ の処理委託量(t)	認定熱回収 業者への処 理委託量 (t)	認定回収業者 以外への熱回 収を行う業者 への処理委託 量(t)
廃プラスチック	173.8800	171.5700	171.5700			159.9696	159.9696	157.8444		
紙くず	33.1200	33.1200	33.1200			30.4704	30.4704	28.0328		
木くず	479.4570	212.8170	479.4570			441.1004	194.0842	405.8124		
繊維くず	3.5460	1.1160	1.1160			3.2623	1.0113	3.0013		
金属くず	79.8910	79.8910	79.8910			73.4997	73.4997	67.6197		
ガラス・陶磁器くず	206.6790	175.8990	175.8990			190.1447	161.6230	174.9331		
がれき類	427.6840	3.7000	351.7600			393.4693	3.1478	361.9917		
汚泥	2.2000	2.2000	2.2000			2.0240	2.0240	1.8621		
合計	1,406.4570		1,295.0130			1,293.9404		1,201.0976		